平成 24 年 8 月 10 日

各　　位

会　　社　　名　　株式会社 宮崎太陽銀行
代　表　者　名　　取締役頭取 川崎　新一
（　コード番号　　８５６０　福証　）
問 合 せ 先　　経営企画部長 福田　正之
（　Ｔ　Ｅ　Ｌ　　0985－24－2111　）

平成２４年３月期における経営強化計画の履行状況について

株式会社宮崎太陽銀行（頭取 川崎 新一）は、「金融機能の強化のための特別措置に関する法律」に基づき、平成 24 年 3 月期における経営強化計画の履行状況をとりまとめましたのでお知らせいたします。

進捗のポイント

1. コア業務純益

中小規模事業者等の皆様への積極的な資金供給により貸出残高が増加したほか、預り資産販売等の営業強化に伴い手数料収入が拡大しましたが、貸出利回りの低下によりコア業務純益は計画を下回る結果となりました。

平成 24 年度以降は、地域密着型金融推進の本格展開による中小企業を中心とする事業性貸出の一層の拡大に加え、個人金融部門の強化による収益確保、経費削減に取り組み、さらなる効率経営とトップライン収益の確保によるコア業務純益の実績回復に全行を挙げて取り組む方針であります。

2. 業務粗利益経費率

経費（機械化関連費用を除く）については、適正人員の見直しに基づく行員数の減少等によって人件費を圧縮したほか、物件費の抑制により計画を下回りましたが、資金利益の減収により業務粗利益が計画を下回ったことから、業務粗利益経費率は計画を上回りました。

3. 中小規模事業者等向け信用供与の残高、比率

事業先専担者による組織的な新規開拓活動や本部ビジネスサポート担当者の電話による資金需要の発掘、営業店行員によるお取引先とのリレーション強化など、事業先への提案活動に営業店・本部が一体となって取り組んだ結果、中小規模事業者等向け貸出残高は計画を上回り、地域における金融円滑化に貢献いたしました。

一方で、預金の増加に伴い総資産残高も計画を上回ったことから、総資産に対する比率は計画を下回りました。

4. 経営改善支援取組率

様々な業種のお取引先に対するビジネスマッチングや関連会社（(株) 宮崎太陽キャピタル）等のコンサルティング機能を活用したニーズ対応のほか、経営改善計画の策定支援・フォローアップ、事業再生支援等に取り組んだ結果、経営改善支援取組率は計画を大きく上回りました。

＊進捗状況の詳細については、当行ホームページ（http://www.taiyobank.co.jp/）の経営関連情報に掲載しております「経営強化計画の履行状況報告書」（平成 24 年 6 月）の 3 ページから 5 ページ及び 29 ページから 40 ページをご覧ください。

以　上

本件に関するお問合せ先：経営企画部　岡田
（TEL　0985-60-6270）